

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

産業と技術革新の基盤をつくろう

ANSER う. 約40%

世界では約26億人が不安定な電力の中で生活し、約8億人が安定した水資源を得られない状態にあります。安定した安全な生活をおくることにより、企業の生産性もあがります。産業の発展のための基盤となる、水道・電気・インターネットの整備は不可欠です。

引用：国際連合広報センター
(<https://www.unic.or.jp>)
※内容を参照し徳島県が作成

10 人や国の不平等をなくそう

人や国の不平等をなくそう

ANSER う. 36億人

世界で最も裕福なたった8人が世界の半分のお金を持っています。貧富の格差も不平等の一つですが、不平等を減らすことにより、貧困や飢え、争いごとをなくし世界中の人々の幸せに繋がります。

参照：国際非政府組織(NGO)オックスファム
(<https://oxfamlibrary.openrepository.com/bitstream/handle/10546/620170/bp-economy-for-99-percent-160117-en.pdf?sequence=1>)
※内容を参照し徳島県が編集

11 住み続けられるまちづくりを

住み続けられるまちづくりを

ANSER あ. 約5倍

「過去40年にわたって、人びとが避難や移住をしなければならなくなるような自然災害の発生件数が大きく増えています。」
「頻発する干ばつ、砂漠化、スーパー台風、豪雨など、増加している災害は、やむなく移動を強いられる人、食糧危機にさらされる人が増える原因にもなっています。」

引用：日本ユニセフ協会
(<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/11-cities/>)
※「」の内容を引用し徳島県が作成

12 つくる責任、つかう責任

つくる責任、つかう責任

ANSER い. 賞味期限

賞味期限は色やにおい、味などをチェックして異常がなければまだ食べることができます。表示の期限が過ぎたからといって安易に捨ててしまうのはもったいないかもしれません。

参照：農林水産省
(<https://www.maff.go.jp>)
※内容を参照し徳島県が作成

13 気候変動に具体的な対策を

気候変動に具体的な対策を

ANSER あ. 照明・家電製品などから

家庭からの二酸化炭素排出量で32.7%は照明・家電製品などからです。排出量を減らすには、例えば主電源を切る、使わない時はコンセントを抜く、それだけで年間約60kgの二酸化炭素削減、また年間約3400円の節約にもなります。

参照：全国地球温暖化防止活動推進センター
(<https://www.msc.org.jp/home>)
※内容を参照し徳島県が編集

14 海の豊かさを守ろう

海の豊かさを守ろう

ANSER い. 約半分

世界の29%の種類の海洋生物は持続的に維持できないほどに獲られ過ぎ、61%の種類はもうすぐ限界です。また1970年代から比べると海洋生物は、当時の49%の量しかいません。

参照：WWF イギリス
(https://assets.wwf.org.uk/custom/stories/living_blue_planet/)
※内容を参照し徳島県が作成

15 陸の豊かさを守ろう

陸の豊かさを守ろう

ANSER え. 全部

1970年代から2000年代の間に平均4万種の生き物が絶滅したと言われています。原因は環境の変化や乱獲などが考えられますが、将来的にはさらに現在の10倍もの速さで絶滅が進むとも予測されます。

参照：環境省
(<https://www.env.go.jp/index.html>)
※内容を参照し徳島県が編集

16 平和と公正をすべての人に

平和と公正をすべての人に

ANSER あ. 2秒に1人

2019年、世界で紛争などで「故郷を追われた人」の数は過去最多の7950万人です。あらゆる争いをなくし、平和を実現するためにも、法律など公正な制度を利用できることが大切です。

参照：(UNHCR)国連難民高等弁務官事務所
(<https://www.unhcr.org/jp/>)
※内容を参照し徳島県が作成

17 パートナリシップで目標を達成しよう

パートナーシップで目標を達成しよう

ANSER い. 世界中のすべての人が協力すること

SDGsの目標を達成するには、私たち一人一人がその一つ一つの問題に興味を持ち、できることからコツコツと対策に参加していく必要があります。消費者という視点からはやはり買い物をする時に責任を持って商品・サービスを選びたいものですね。